

和泉市 男女共同参画に関する市民意識調査

調査の趣旨とご協力をお願い

和泉市では、男女が互いに人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、平成19年に「和泉市男女共同参画推進条例」を制定、平成27年には「第3期和泉市男女共同参画行動計画（オアシスプラン）」及び「和泉市配偶者等からの暴力防止及び被害者の支援に関する基本計画（DV防止基本計画）」を策定し、男女共同参画に関する様々な取組を進めています。

今回、計画期間の終了にあたり、新たな計画を策定することとなりました。

この調査は、男女共同参画に対する市民の意識や現状についての考えをお聞かせいただき、計画策定の基礎資料とすることを目的としており、和泉市内の18歳以上の男女3,000人の方を無作為に選び実施するものです。

お答えは、すべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されるなど、回答された方にご迷惑をおかけするようなことはございません。お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和7年●月

和泉市長 辻 宏康

— ご記入にあたってのお願い —

1. この調査は、あて名のご本人がお答えください。ご本人の回答が難しい場合は、ご家族のどなたかがご回答くださるようお願いいたします。
2. 回答は、あてはまる回答の番号を○で囲んでください。回答数は、各設問に（○印は1つ）（○印はいくつでも）などと指定してありますので、それに従って回答してください。
3. 回答の中で「その他」を選んだ場合は、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をできる限りご記入ください。
4. インターネットを利用してパソコンやスマートフォンなどからも回答できます。
下記のURLにアクセスするか、右の二次元コードを読み込んでください。

URL : [https:// ●●●●●](https://●●●●●)

入力する際は、IDを入力してください。

ID : ●●●●●

二次元
コード

5. 回答は**令和7年●月●日（●）**までにお願ひします。調査票でご回答いただいた場合、無記名のまま、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、ポストにご投函くださるようお願いいたします。

この調査についてご不明な点などがございましたら、下記までお問い合わせください。

また、視覚障害などの理由で印刷物を読むことが困難な方は、下記連絡先までご相談ください。

和泉市役所 総務部 人権・男女参画室 男女共同参画グループ

電 話 : 0725-99-8116

1 あなたについて

問1 あなたの性別は。(性別を記入)

1. 女性 2. 男性 3. 1、2のどちらでもない 4. 答えたくない

問2 あなたの年代は。(○は1つ)

1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代
4. 40 歳代 5. 50 歳代 6. 60 歳以上
7. 70 歳代 8. 80 歳以上

問A あなたがお住まいの地域(中学校区又は義務教育学校区)はどこですか。中学校区がわからない方は、町名をお書きください。【あてはまるもの1つに○】

1. 和泉 2. 郷荘 3. 石尾
4. 北池田 5. 南池田 6. 光明台
7. 南松尾はつが野 8. 槇尾 9. 富秋
10. 信太 11. 中学校区がわからない方→ (町)

問3 あなたは和泉市に居住してどのくらいですか。(○は1つ)

1. 10 年未満 2. 10～20 年未満
3. 20～30 年未満 4. 30 年以上

問4 あなたの家族構成はどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 1人世帯 2. 一世代世帯(夫婦だけ)
3. 二世帯世帯(親と子) 4. 三世帯世帯(親と子と孫)
5. その他の世帯(具体的に)

問5 あなたには配偶者・パートナーがいますか。(○は1つ)

1. いる 2. いない

あなたは結婚(事実婚を含む)していますか。またはしていましたか。

1. 未婚 2. 結婚している(配偶者・パートナー(※)がいる)
3. 結婚していたが、離婚又は死別した

※パートナー：事実婚、結婚の本拠を共にする交際相手のこと

問6 あなたにはお子さんがいますか。(別居を含む)(○は1つ)

1. いる 2. いない

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上 5. 子どもはいない

問6-1 【お子さんがいる方にお聞きします。】

一番下のお子さんはどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 3歳未満 2. 3歳以上就学前 3. 小学生
4. 中学生 5. 高校生 6. それ以上

問B 昨年のあなたご自身の年間所得は、税込みでいくらでしたか。(○は1つ)

1. 200万円未満 2. 200万円以上400万円未満
3. 400万円以上600万円未満 2. 600万円以上800万円未満
3. 800万円以上1,000万円未満 2. 1,000万円以上

問C あなたが最後に通われた学校(中退を含む)はどれにあてはまりますか。

在学中の方は、現在通学されている学校をお答えください。(○は1つ)

1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校
2. 高等学校、中卒が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中学校
3. 短期大学、高等専門学校、高卒が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高校、専門学校
4. 四年制大学
5. 大学院
6. その他(具体的に)

2 男女共同参画について

問7 あなたは次の「言葉」や「法律等」をご存知ですか。あてはまるものを選んでください。

(①～⑯のそれぞれについて1つに○)

	内容を 知っている	聞いたこと はあるが内 容は知らな い	聞いたことが なく内容を 知らない
①ドメスティック・バイオレンス（DV） （親密な関係にある男女間の暴力）	1	2	3
②固定的な性別役割分担意識	1	2	3
③ジェンダー（社会的・文化的につくられた性差）	1	2	3
④ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	1	2	3
⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3
⑥男女共同参画社会	1	2	3
⑦アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）	1	2	3
⑧性的指向・性自認（SOGI）	1	2	3
⑨ダイバーシティ	1	2	3
⑩アウティング	1	2	3
⑪女子差別撤廃条約 （女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約）	1	2	3
⑫DV防止法 （配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）	1	2	3
⑬ストーカー規制法 （ストーカー行為等の規制等に関する法律）	1	2	3
⑭女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 （女性活躍推進法）	1	2	3
⑮困難な問題を抱える女性への支援に関する法律 （女性支援新法）	1	2	3
⑯和泉市男女共同参画推進条例	1	2	3

問9 あなたは次のような分野で男女の地位は、どの程度平等になっていると思いますか。

(①～⑦のそれぞれについて1つに○)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
①家庭生活では	1	2	3	4	5	6
②職場では	1	2	3	4	5	6
③地域活動の場では	1	2	3	4	5	6
④学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
⑤政治の場では	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
⑦社会通念・慣習・しきたりなどでは	1	2	3	4	5	6
⑧全体として	1	2	3	4	5	6

問D 次にあげるような職業や役職において、今後女性がもっと増える方が良いと思うのはどれですか。

この中からいくつでもあげてください。(○はいくつでも)

1. 都道府県の知事、市（区）町村長
2. 国会議員、都道府県議会議員、市（区）町村議会議員
3. 国家公務員・地方公務員の管理職
4. 裁判官、検察官、弁護士
5. 学校長、大学学長、大学教授
6. 国連などの国際機関の管理職
7. 企業の管理職、役員
8. 起業家・経営者
9. 労働組合の幹部
10. 農協・漁業・林業などの事業組合の役員
11. 新聞・放送などマスメディア関係者
12. 自治会長、町内会長等
13. 地域の防災組織など災害対応に携わる者
14. 理工系分野の研究者・技術者
15. 特にない
16. その他

問10 あなたは社会全体でみた場合に、男女の地位は平等になっていると思いますか。(○は1つ)

- 1. 男性の方が非常に優遇されている
- 2. どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 3. 平等である
- 4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 5. 女性の方が非常に優遇されている
- 6. どちらともいえない

問11 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- 1. 賛成
- 2. どちらかといえば賛成
- 3. どちらかといえば反対
- 4. 反対
- 5. どちらともいえない

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

問E 【問11で「1.」または「2.」と回答された方にお聞きします。】

そう思う理由を教えてください。(○はいくつでも)

- 1. 日本の伝統・慣習だと思うから
- 2. 性別で役割分担をした方が効率が良いと思うから
- 3. 子どもの成長にとって良いと思うから
- 4. 個人的にそうありたいと思うから
- 5. その他（具体的に

)

問F 【問11で「3.」または「4.」と回答された方にお聞きします。】

そう思わない理由を教えてください。(○はいくつでも)

- 1. 男女平等に反すると思うから
- 2. 女性が家庭のみでしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思うから
- 3. 男女ともに仕事と家庭に関わる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから
- 4. 少子高齢化により労働力が減少し、女性も仕事をする必要があると思うから
- 5. 一方的な考え方を押し付けるのは良くないと思うから
- 6. その他（具体的に

)

問12 次のような考え方について、あなたはどのように思いますか。

(①～⑧のそれぞれについて1つに○)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	どちらとも いえない
①結婚は個人の自由であるから、人は結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
②女性は結婚したら、自分自身のことより家庭を中心に考えて生活した方がよい	1	2	3	4	5
③夫の親を妻が介護するのは当然である	1	2	3	4	5
④結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
⑤子どもを産む回数や時期などは、女性の意思も尊重すべきである	1	2	3	4	5
⑥結婚してもうまくいかないときは、結婚を継続しなくてもよい	1	2	3	4	5
⑦夫婦は別の姓を名乗ってもよい	1	2	3	4	5
⑧地域活動（自治会やPTAなど）の会長や役員に、もっと女性が増えた方がよい	1	2	3	4	5

問13 家庭における役割について、あなたの生活に近いものはどれですか。

(①～⑧のそれぞれについて1つに○)

	男性が する	男性が中心だが 女性もする	男性も女性も 同程度する	女性が中心だが 男性もする	女性が する	その他
①生活費をかせぐ	1	2	3	4	5	6
②日々の家計の管理をする	1	2	3	4	5	6
③高額な物の購入の決定	1	2	3	4	5	6
④日常の家事	1	2	3	4	5	6
⑤老親や病身者の介護や看護	1	2	3	4	5	6
⑥育児（乳幼児の世話）	1	2	3	4	5	6
⑦自治会、町内会などへの参加	1	2	3	4	5	6
⑧NPO、ボランティア、PTAなどへの参加	1	2	3	4	5	6

次のことがらについて、主に男性、女性のどちらが担う方がよいと思いますか。

あなたの考えに近いものを選んでください。【○はそれぞれ1つずつ】

	主に男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主に女性の役割	いずれにも該当しない
①生活費をかせぐ	1	2	3	4	5	6
②日々の家計の管理	1	2	3	4	5	6
③日常の家事（炊事）	1	2	3	4	5	6
④日常の家事（洗濯）	1	2	3	4	5	6
⑤日常の家事（掃除）	1	2	3	4	5	6
⑥日常の家事（③～⑤以外の家事）	1	2	3	4	5	6
⑦老親や病身者の介護・看護	1	2	3	4	5	6
⑧子どもの教育としつけ、学校行事の参加	1	2	3	4	5	6
⑨乳幼児の世話	1	2	3	4	5	6
⑩自治会、町内会など地域活動への（※）参加	1	2	3	4	5	6

※「地域活動」とは、自治会、PTA、民生委員、NPOやボランティアでの活動などを指します。

問 14 【問 14 は、男性は全員の方、女性は配偶者・パートナーのいる方がお答えください。】

男性の日常生活について、あなた（あなたの配偶者・パートナー）にあてはまることはありますか。
（○はいくつでも）

1. 家族の食事を準備できる

2. 自分の食事を準備できる

3. 食事の後片付けを自主的にする

4. 洗濯、洗濯物を干す、洗濯物を取り入れ片づけるなどをする

5. ゴミを分別し、自分で出す

6. 隣近所の人とはあいさつをする程度の付き合いがある

7. 隣近所の人と、困った時は相談したり、助け合ったりできる付き合いがある

8. その他（具体的に_____）

9. 特にない

問 15 あなたが家事・育児・介護に携わる時間は、①平日または仕事がある日と②休日、それぞれ一日あたりどれくらいですか。(①、②のそれぞれについて1つに○)

	全くなし	30分未満	30分～1時間未満	1時間～3時間未満	3時間～5時間未満	5時間以上
①平日または仕事がある日	1	2	3	4	5	6
②休日	1	2	3	4	5	6

1日のうちであなたが仕事（在宅就労を含む）や家事、育児、介護に要する平均時間は、通常の場合、平日、休日それぞれどのくらいですか。【○はそれぞれ1つずつ】

(1) 仕事（通勤時間を含む）

①平日（○は1つ）	①休日（○は1つ）
1. なし 2. 4時間未満 3. 4時間～8時間未満 4. 8時間～12時間未満 5. 12時間以上	1. なし 2. 4時間未満 3. 4時間～8時間未満 4. 8時間～12時間未満 5. 12時間以上

(2) 家事

①平日（○は1つ）	①休日（○は1つ）
1. なし 2. 1時間未満 3. 1時間～3時間未満 4. 3時間～5時間未満 5. 5時間以上	1. なし 2. 1時間未満 3. 1時間～3時間未満 4. 3時間～5時間未満 5. 5時間以上

(3) 育児

①平日（○は1つ）	①休日（○は1つ）
1. なし 2. 1時間未満 3. 1時間～3時間未満 4. 3時間～5時間未満 5. 5時間以上	1. なし 2. 1時間未満 3. 1時間～3時間未満 4. 3時間～5時間未満 5. 5時間以上

(4) 介護

①平日（○は1つ）	①休日（○は1つ）
1. なし 2. 1時間未満 3. 1時間～3時間未満 4. 3時間～5時間未満 5. 5時間以上	1. なし 2. 1時間未満 3. 1時間～3時間未満 4. 3時間～5時間未満 5. 5時間以上

問 16—男性の生き方についてお聞きします。あなたの「理想と現実」をお答えください。
 —（「理想」は全員の方に、「現実」は男女とも配偶者・パートナーのいる方がお答えください。
 ①、②のそれぞれについて1つに○）—

	仕事に専念し、家庭や地域のことは妻に任せ、協力する	仕事に専念するが、家庭や地域のことも多少は協力する	仕事と家庭や地域のことのバランスをとり、妻と協力して行う	家庭や地域のことを仕事よりも優先する	その他
①理想	1	2	3	4	5
②現実	1	2	3	4	5

あなたは、生活の中で「仕事」、「家庭や地域活動（※）」、「個人の生活」で何を優先しますか。あなたの希望と現実（現状）に最も近いものをそれぞれ1つお答えください。

※「地域活動」とは、自治会、PTA、民生委員、NPOやボランティアでの活動などを指します。

（１）希望として【○は1つだけ】

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭や地域活動」を優先したい
3. 「個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭や地域活動」をともに優先したい
5. 「仕事」と「個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭や地域活動」と「個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の3つとも大切にしたい
8. その他：自由記述（ ）

（２）現実（現状）として【○は1つだけ】

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭や地域活動」を優先している
3. 「個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭や地域活動」をともに優先している
5. 「仕事」と「個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭や地域活動」と「個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の3つとも大切にしている
8. その他：自由記述（ ）

問 17 【問 17 は、就学前のお子さんがある方がお答えください。】

あなたは子育てについて、次のように思うことがどのくらいありますか。

(①～⑦のそれぞれについて1つに○)

	よくある	時々ある	あまりない	まったくない
①子どもと一緒にいると楽しい	1	2	3	4
②子どもがわずらわしくて、イライラする	1	2	3	4
③叱るときに思わず手が出てしまうことがある	1	2	3	4
④子どものことでどうしたらよいかわからなくなる時がある	1	2	3	4
⑤子どもに関心が持てない	1	2	3	4
⑥育児によって自分が成長することを感じる	1	2	3	4
⑦自分ひとりで育児をしていると感じる	1	2	3	4

問 18 あなたの身内に、日常的に介護を必要とする方がいらっしゃいますか。(○は1つ)

1. いる 2. いない

問 18-1 【問 18 で「1. いる」と回答された方にお聞きします。】

その方の世話は、主にどなたがしていますか。(○は1つ)

介護が必要な方から見た続柄でお答えください。

1. 配偶者（夫）	2. 配偶者（妻）	3. 父
4. 母	5. 息子	6. 息子の配偶者
7. 娘	8. 娘の配偶者	9. 兄弟
10. 姉妹	11. 隣近所・友人などの知り合い	
12. 老人ホームなどの施設	13. ホームヘルパーなど	
14. その他（具体的に		

問19 あなたには、家族の介護を頼むことができる人はいいますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------|-------------------|-----------|
| 1. 配偶者(夫) | 2. 配偶者(妻) | 3. 父 |
| 4. 母 | 5. 息子 | 6. 息子の配偶者 |
| 7. 娘 | 8. 娘の配偶者 | 9. 兄弟 |
| 10. 姉妹 | 11. 隣近所・友人などの知り合い | |
| 12. ホームヘルパーなど | 13. その他(具体的に |) |
| 14. 頼める人はいない | | |

問20 あなたが介護のことで困ったとき、誰に相談しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 家族など | 2. 友人 |
| 3. 隣近所の人 | 4. 民生委員 |
| 5. 介護サービス事業所の職員 | 6. 市役所の職員(保健師を含む) |
| 7. 医師・看護師などの医療関係者 | |
| 8. その他(具体的に |) |
| 9. 相談相手がない | 10. 相談先がわからない |

問21 あなたに介護が必要になった場合、どのようにしてほしいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---|---|
| 1. 介護保険を利用して、病院や老人ホームなどの施設で介護してほしい | |
| 2. 介護保険を利用して、ホームヘルパーのサービスを受けながら、家族や身内の人に介護してほしい | |
| 3. 介護保険を利用せず、家族や身内の人に介護してほしい | |
| 4. わからない | |
| 5. その他(具体的に |) |

問21-1 【問21で「2.」「3.」と回答された方にお聞きます。】

その場合、あなたは主に家族の誰に介護してほしいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|-----------|-------|
| 1. 配偶者 | 2. 娘 | 3. 息子 |
| 4. 娘の配偶者 | 5. 息子の配偶者 | |
| 6. その他(具体的に | |) |
| 7. まだ具体的に考えていない | | |

問 22 あなたは次の制度の内容についてご存知ですか。また実際に取得したことがありますか。

(①、②について、A、Bそれぞれ○は1つ)

	A 内容を知っているか			B 取得したことがある		
	知っている	聞いたことがある	知らない	取得したことがある	取得したことがない	取得の対象とならない
①育児休業制度	1	2	3	4	5	6
②介護休業制度	1	2	3	4	5	6

問 22-1 【問 22 の B で「取得したことがない」と回答された方にお聞きします。】

その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 職場でこれまでに取得した人を知らないから
2. 職場にそのような制度があるかわからないから
3. 仕事が忙しいから
4. 他の職員の負担や代替要員の配置など職場や上司、同僚へ気がねするから
5. 休業することで昇格・昇給などに不利になるのではないかと不安だから
6. 復職後に同じ仕事や希望する仕事につけるかと不安だから
7. 利用することに対する職場内での理解が十分ではないため
8. 休業することで収入が減少することが不安だから
9. 他の家族など、育児や介護をする人がいたため、取得する必要がなかった
10. その他（具体的に

)

問 23 「職場での仕事」と「生活（趣味や家庭での時間など）」の調和を図る“ワーク・ライフ・バランス”という考え方があります。日々の暮らしの中での時間の使い方について、あなたの「希望」と「現実」をお答えください。（①、②のそれぞれについて1つに○）

	どちらかというと 仕事を優先	どちらかというと 生活（趣味や家庭 での時間など）を 優先	仕事と生活を バランスよく	わからない
①希望	1	2	3	4
②現実	1	2	3	4

問 24 「男性はもっと家庭生活（家事や子育て、介護など）や地域活動に参加する必要がある」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

- | | | |
|---------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. そう思わない | 3. どちらともいえない |
|---------|-----------|--------------|

問 25 男性の家庭生活（家事や子育て、介護など）や地域活動への参加を進めるためには、どのようなことが特に必要だと思いますか。（○は3つまで）

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1. 男性が家庭生活や地域活動に参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家庭生活や地域活動に参加することに対する社会の抵抗感をなくすこと
3. 労働時間短縮や休暇制度等、働き方の見直し
4. 男性が育児休業・介護休業を取ることを職場で奨励する
5. 男性のための、家事・育児・介護に関する講座や教室の開催
6. 男女の役割を決めつけるような子どもの育て方をしない
7. 男性どうしの地域でのネットワークづくり
8. その他（具体的に
9. 必要だと思わない |

 |
|---|----------------------------------|

4 教育について

全員の方が問 26～問 29 をお応えください。

問 26 あなたは、子どもはどのように育ったらいいと思いますか。(①、②のそれぞれについて3つに○)

	やさしく思いやりのある人	自分の考えをはっきりと言える人	指導力のある人	責任感のある人	家事など身の回りのことが自分でできる人	経済的自立ができる人
①女の子	1	2	3	4	5	6
②男の子	1	2	3	4	5	6

問 27 あなたは、子どもには将来どのような生き方をしてほしいと思いますか。(①、②のそれぞれについて3つに○)

	社会的な地位を得る	経済的に自立した生活をする	人間性豊かな生活をする	家族や周りの人たちと円満に暮らす	社会に貢献する	本人の個性や才能を生かした生活をする	本人の意思に任せる	その他	わからない
①女の子	1	2	3	4	5	6	7	8	9
②男の子	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問 28 あなたは、女の子と男の子のしつけや教育についてどう思いますか。(○は1つ)

1. 女の子は女らしく、男の子は男らしくといった性別に応じたしつけや教育をする方がよい
2. 性別にこだわらず、同じようにしつけや教育をする方がよい
3. どちらともいえない

問 29 あなたは、学校の中で男女平等を進めるために、どのようなことが必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

1. 子どもたちが男女平等を主体的に考える教育を進める
2. 教職員の男女平等教育に関する意識を深める
3. 保護者と教職員がともに男女平等教育について学習する機会を持つ
4. 男女を必要以上に区別せず、個人の個性と能力を尊重した指導を公平に行う
5. こころとからだを大切にする年齢に応じた性教育を行う
6. 男女にかかわらず基本的な教育として、働くことの意義を教える
7. 男女平等教育推進モデル校の取組を充実する
8. 校長・教頭の管理職に女性を積極的に登用する
9. その他(具体的に

)

問 G あなたは、理系の学部・学科に進学しようと思った経験(現在も含みます。)はありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

5 労働について

問 30 あなたの現在の就業形態、また、今後あなたが希望する就業形態についてお答えください。

(①～②のそれぞれについて1つに○)

また、配偶者・パートナーがおられる方は③についてもお答えください。(1つに○)

※産休・育児休業・介護休業中の方は仕事をしているものとしてお答えください。

	正社員・正職員などの常勤(フルタイム)	パートタイム・アルバイト・派遣など	自営業(商工・サービス・農林漁業、家族従業者も含む)	専業主婦・主夫	無職(専業主婦・主夫以外の人)	学生	その他
①あなたの就業形態は	1	2	3	4	5	6	7
②あなたが今後希望する就業形態は	1	2	3	4	5	6	7
③配偶者・パートナーの就業形態は	1	2	3	4	5	6	7

問 31 あなたはこれまで仕事をやめた経験がありますか。(○は1つ)

1. ある

2. ない

問 31-1 【問 31 で「1. ある」と回答された方にお聞きします。】

あなたが仕事をやめた主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 結婚したら専業主婦・主夫になりたかったから
2. 結婚のため、やめざるを得なかったから
3. 出産・育児に専念したかったから
4. 出産・育児のため、やめざるを得なかったから
5. 家族の介護に専念したかったから
6. 家族の介護のため、やめざるを得なかったから
7. 自分や配偶者・パートナーの転勤で、転居しなくてはならなかったから
8. 人員整理、契約期間が満了したから
9. 仕事にやりがいなかったから、仕事の内容が自分に合っていなかったから
10. 残業や休日出勤が多く、労働時間が長かったから
11. 昇進や賃金など待遇面で不満があったから
12. 職場の人間関係上の理由から
13. 自分の健康上の理由から
14. 定年、高齢だから
15. その他(具体的に)

問 32 一般的に女性が仕事をするということについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

1. 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい
2. 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念する方がよい
3. 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたなら家事や子育てに専念する方がよい
4. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける方がよい
5. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい
6. 仕事には就かない方がよい
7. その他(具体的に)
8. わからない

問 33 【問 33 は、女性は全員の方、男性は配偶者・パートナーのいる方がお答えください。】

女性が仕事をするということについて、実際にはどれにあてはまりますか。女性のご自身について、男性は配偶者・パートナーについてお答えください。(○は1つ)

1. 結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている(続けていた/続けるつもり)
2. 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念している(専念していた/専念するつもり)
3. 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたなら家事や子育てに専念している(専念していた/専念するつもり)
4. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている(続けていた/続けるつもり)
5. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている(続けていた/続けるつもり)
6. 仕事に就いたことはない(就くつもりはない)
7. 仕事に就きたいが、働く場所が見つからない
8. その他(具体的に)

問 34 女性が結婚や出産、子育てをしながら仕事を続けるために、あなたはどのようなことが特に必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり
2. 労働時間の短縮や子育て中の残業の免除など柔軟に働ける職場づくり
3. 育児休業・介護休業中の手当やその他の経済的支援の充実
4. 育児や介護と仕事との両立を支援するサービスの充実
5. 家事や育児、介護等への男性の参加
6. 再就職しやすい環境づくりや支援の充実
7. その他(具体的に)
8. 特に必要ない

問H 出産、育児、介護・看護などで仕事を辞めた後、再就職を希望する女性が、再就職しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 就職情報や職業紹介などの相談機関の充実
2. 技能・技術を身につけるための研修や職業訓練の機会の充実
3. 育児や介護・看護などによる退職者を同一企業で再雇用する制度の普及
4. 企業経営者や職場の理解
5. 労働時間の短縮やフレックスタイム制、在宅勤務などの多様な勤務制度の導入
6. 育児や介護・看護のための施設やサービスの充実
7. 夫、パートナーなど家族の理解や家事、育児、介護・看護などへの参加
8. その他(具体的に)

問35 【問35は、仕事をしている方(非常勤、派遣、パート、アルバイトなども含む)にお聞きします。】
働く場では、男性と比べて女性に対し、仕事の内容や待遇面で次のようなことがありますか。
(〇はいくつでも)

1. 賃金に差がある
2. 昇給・昇格に差がある
3. 教育・研修の内容や機会に差がある
4. 女性には就けないポスト・職種がある
5. 企画会議などの意思決定の場に女性が参画できない傾向がある
6. セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)がある
7. 女性を中心にお茶汲み・コピー取り・掃除などをする傾向がある
8. 補助的な仕事しか与えられない
9. 結婚や出産を機に退職する慣習がある
10. その他(具体的に)
11. 特にない

あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか【〇はそれぞれ1つずつ】

	男性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	平等である	わからない
①募集・採用	1	2	3	4
②賃金	1	2	3	4
③仕事の内容	1	2	3	4
④昇進・昇格	1	2	3	4
⑤管理職への登用	1	2	3	4
⑥能力評価（業績評価・人事評価など）	1	2	3	4
⑦研修の機会や内容（キャリア支援）	1	2	3	4
⑧家庭と仕事の両立支援制度など、働き続けるための職場環境整備	1	2	3	4
⑨育児・介護・看護体制など休暇の取得のしやすさ	1	2	3	4

問 36 男女がともに、仕事と家庭生活（家事や子育て、介護など）や地域活動を両立させるためには、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

1. 女性も仕事を続けるのは当然だという意識を高め、社会的な風潮をつくる
2. 男性自身が家事・育児・介護・地域活動に参加するという意識を持って、実践する
3. 家族が仕事と家庭生活や地域活動との両立を理解し、協力する
4. 育児や介護、地域活動のための休暇などが取りやすい職場環境をつくる
5. 働いている人たちが、地域活動に参加しやすいような工夫をする
6. 労働時間を短縮する
7. 幼稚園・保育所・学童保育の充実を図る
8. 介護サービスの充実を図る
9. その他（具体的に
10. 特にない

）

問Ⅰ 【64歳以下の方で、現在、家事専業または、無職の方(学生は除く)にお聞きします。】

あなたは今後働きたいとお考えですか。あてまるものの番号を1つだけ選んでください。

- | | | | |
|-------------|--------|--------------|---|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらとも言えない | |
| 4. その他（具体的に | | |) |

問Ⅱ 【問●で「1. はい」と回答された方にお聞きします。】

今後は働きたいけれども、現在働くことができない理由は何ですか。あてはまるものの番号をすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 1. 保育施設に入所できなかったから | |
| 2. 延長保育や一時預かり、休日保育などの保育サービスが身近にないから | |
| 3. 仕事内容、勤務場所、勤務時間等について条件に合う働き口が見つからないから | |
| 4. 家事について、配偶者、パートナー等家族の協力が得られないから | |
| 5. 育児について、配偶者、パートナー等家族の協力が得られないから | |
| 6. 介護・看護について、配偶者、パートナー等家族の協力が得られないから | |
| 7. 介護・看護について、施設やサービスを利用できなかったから | |
| 8. 働くことについて配偶者、パートナー等家族の同意が得られないから | |
| 9. 働くことで家族に迷惑がかかると感じるから | |
| 10. 仕事と家庭の両方をうまくやっていく自信がないから | |
| 11. 仕事に必要な知識や能力が備わっているか不安を感じるから | |
| 12. 職場での人間関係をうまくやっていけるか不安を感じるから | |
| 13. その他の（具体的に： |) |

6 地域活動などへの参画について

問 37 あなたは現在、地域活動など（自治会、子ども会、PTA活動、ボランティア活動、NPO活動など。趣味などの活動は除きます。）をしていますか。また、今後してみたいと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|----------|
| 1. している | 2. してみたい |
| 3. 特にしたくはない | |

問 37-1 【問 37 で「1. している」「2. してみたい」と回答された方にお聞きします。】
それはどのような活動ですか。（○はいくつでも）

- | |
|---|
| 1. 自治会、女性会（婦人会）、老人会、PTA、子ども会、防災・防犯などの地域活動 |
| 2. 消費生活・環境保護・リサイクル問題等にかかわる活動 |
| 3. 子育て、高齢者介護、障がい者支援などにかかわる福祉・ボランティア活動 |
| 4. 国際理解・多文化共生を深めるような活動 |
| 5. 地域おこしやまちづくりに関する活動 |
| 6. その他の活動（具体的に： _____） |

問 37-2 【問 37 で「1. している」と回答された方にお聞きします。】

その活動で、現在役職についていますか。または、役職についた経験がありますか。（○は1つ）

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 現在についている | 2. 以前についていた | 3. ついた経験はない |
|-------------|-------------|-------------|

問 38 あなたが地域活動をしようとする場合、障壁となっていること、障壁となるであろうと思われることがありますか。（○はいくつでも）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 仕事が忙しく、時間がない |
| 2. 職場の上司や同僚の理解が得られない |
| 3. 家事・育児が忙しく、時間がない |
| 4. 子どもの世話を頼めるところがない |
| 5. 親や病人の介護を頼めるところがない |
| 6. 配偶者や家族の理解が得られない |
| 7. 経済的な余裕がない |
| 8. 自分の健康や体力、気力に自信がない |
| 9. 自分のやりたい活動をしているグループや団体を知らない |
| 10. 身近なところに活動する場所がない |
| 11. その他（具体的に _____） |
| 12. 特に障壁はない |

7 防災について

問 39 防災・災害復興対策で男女の性別に配慮して取り組む必要が特にあると思うことは何ですか。
(○は3つまで)

1. 避難所の設備（男女別トイレ・更衣室、授乳室、防犯対策等）
2. 避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点が入ること
3. 乳幼児、高齢者、障がい者、病人、女性が必要とするものなどの備えやニーズの把握、支給する際の配慮
4. 災害時の救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）
5. 被災者に対する相談体制
6. 災害対策本部に女性が配置され、被災時の対策に女性の視点が入ること
7. 防災・復興に関する計画の策定のための防災会議などに女性が参画し、男女共同参画の視点を計画や防災マニュアルなどに反映すること
8. その他(具体的に)
9. わからない
10. 必要だと思わない

8 政策・方針決定の場への参画について

問 40 自治会長やPTA会長などの役職に、女性の方はあなた自身が、男性の方はあなたの妻など身近な女性が推薦されたとしたら、あなたはどうしますか。(○は1つ)

1. 引き受ける・引き受けることをすすめる
2. 断る・断ることをすすめる

問 40-1 【問 40 で「2. 断る・断ることをすすめる」と回答された方にお聞きします。】
その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 家事・育児・介護に支障が出るから
2. 活動時間が長くなり、帰りが遅くなるから
3. 男性が多数を占める組織に入ることに抵抗を感じるから
4. 家族の支援、協力が得られないから
5. 本人の経験が少ないから
6. その他(具体的に

)

問 41 あなたは政治・行政・事業所や地域において、政策方針決定の場への女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識
2. 男性優位の組織運営
3. 家族の支援・協力が得られない
4. 女性の能力開発の機会が不十分
5. 女性側の積極性が十分ではない
6. 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない
7. その他(具体的に
8. わからない

)

9 配偶者など女性や子どもへの暴力について

問K あなたは、次のようなことが配偶者・パートナーの間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。あなたの考えに近いものを選んでください。

(①～⑫のそれぞれについて1つに○)

	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない
①平手で打つ	1	2	3
②なぐる、ける	1	2	3
③家具などの物にあたる、壊す	1	2	3
④なぐるふりをして、おどす	1	2	3
⑤望まないのに性的な行為を強要する、避妊に協力しない	1	2	3
⑥無理やりポルノ画像などを見せる	1	2	3
⑦何を言っても無視し続ける	1	2	3
⑧暴言をはいたり、ばかにしたり、見下したりする	1	2	3
⑨自由にお金を使わせない、必要な生活費を渡さない、借金を強要する	1	2	3
⑩友達や身内とのメールや電話をチェックしたり、つきあいを制限したりする	1	2	3
⑪本人の許可なく性的な写真や動画などを一般に公開する	1	2	3
⑫子どもに危害を加える、子どもを取り上げようとする、又は子どもの前で暴力をふるう	1	2	3

問42 少女や少年が性犯罪や事件に巻き込まれるケースを見聞きすることがあります。それらの防止について、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 自分や相手のこころやからだを大切にする意識を育てる
2. とっさの時の自分の身の守り方を教える
3. 援助交際等の売春行為は犯罪であることを教える
4. HIV（エイズウイルス）・性感染症などについての正確な情報を伝える
5. 薬物（シンナー、ドラッグ、覚せい剤など）の恐ろしさを知らせる
6. 携帯電話など出会い系サイトの危険性を知らせ、規制する法律をつくる
7. 児童買春・児童ポルノ禁止法の周知を図るとともに、取締りを強化する
8. 子どもたちが気軽に相談できる電話相談の充実を図る

9. その他（具体的に_____）

問 43 次の項目の中で、あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うものはどれですか。
（○はいくつでも）

1. 結婚や離婚のことをしつこく聞かれる
2. 異性との交際について、干渉したりうわさを流される
3. じろじろみられたり、容姿を話題にされる
4. お酌やデュエット、ダンス等を強要される
5. 性的冗談や卑わいなことを言われる
6. ヌードポスターやわいせつな本を、他人の目につく場所に置かれる
7. からだにさわったり抱きついたりされる
8. 地位や権限を利用して交際や性的関係を迫られる
9. その他（具体的に_____）

問 44 セクシュアル・ハラスメントをなくすためには、あなたはどうしたらよいと思いますか。
（○はいくつでも）

1. 男性に対して、セクシュアル・ハラスメントについての意識啓発を行う
2. 女性に対して、セクシュアル・ハラスメントについての意識啓発を行う
3. セクシュアル・ハラスメントの罰則を強化する
4. セクシュアル・ハラスメントを許さない気運を醸成させる
5. 被害者への相談・支援体制の充実を図る
6. 子どもの頃から、男女平等や性についての教育を充実させる
7. その他（具体的に_____）

(①～⑩のそれぞれについて1つに○)

問 45-1 【問 45 で 1 つでも「何度もあった」「1、2 度あった」と回答された方にお聞きします。】
あなたは暴力を受けたとき誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。(○はいくつでも)

- 27

問 45-2 【問 45-1 で「10. どこにも相談しなかった」と回答された方にお聞きします。】

相談しなかったのはどうしてですか。(○はいくつでも)

1. どこに（誰に）相談していいのかわからなかった
2. 恥ずかしくて誰にも相談できなかった
3. 相談しても無駄だと思った
4. 相談したことが相手に知られると、もっとひどい暴力を受けると思った
5. 自分さえ我慢したら、何とかこのままやっていけると思った
6. 他人を巻き込みたくなかった
7. 自分にも悪いところがあると思った
8. 相談するほどのことではないと思った
9. その他（具体的に

)

問 46 ドメスティック・バイオレンス（DV）など男女間の暴力を防止するためには、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 自己尊重、人権尊重の意識を高める
2. 女性は男性に従うものだという差別意識をあらためる
3. 暴力やセクシュアル・ハラスメントを許さない社会づくりを進める
4. 「DV防止法」「男女雇用機会均等法」など法律の周知を図る
5. 被害者が相談したり避難できる場所を充実する
6. 警察が犯罪として取り締まる
7. 福祉事務所・医療機関・警察などが、連携して被害者に対応するシステムを充実する
8. 加害者へのカウンセリングや暴力をくり返さないための研修を行う
9. その他（具体的に

)

10 男女共同参画の推進について

問 47 あなたは男女共同参画社会を実現するために、特に重要なことは何だと思いますか。
(○は3つまで)

1. 法律や制度の見直しを行い、性差別につながるものを改める
2. 女性や男性に対する偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改める
3. 子どもの頃から家庭や学校で男女平等教育をする
4. 女性も経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、力の向上を図る
5. 仕事や賃金面で男女格差をなくす
6. 労働時間を短縮し、家事・育児・地域活動などに関われるようにする
7. 保育や介護などの施設やサービスの充実を図る
8. 政府や企業などで、積極的に女性を採用し、登用する
9. 女性のリーダーを養成し、意思決定の場への女性の参画を図る
10. その他(具体的に

)

問 48 男女共同参画社会を実現するために、あなたはどのようなことができると思いますか。
(○はいくつでも)

1. 「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分業意識にとらわれないようにする
2. 女性や男性に対する偏見や差別意識をなくし、人権意識を高める
3. 性差別的な慣行やしきたりとらわれないようにする
4. 自立できる経済力を身につける
5. 家事・育児・介護を積極的にする
6. 地域活動(自治会・PTA・ボランティア活動等)に参加・参画する
7. 男女共同参画についての講座やイベントに参加する
8. 行政の審議会委員など、政策・方針等の意思決定の場へ参画する
9. その他(具体的に

)

問 49 和泉市では、男女共同参画社会づくりを推進するための拠点施設として「男女共同参画センター」をシティプラザに設置していますが、あなたはご存知ですか。(○は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 49-1 【「1. 知っている」と回答された方にお聞きします。】

あなたは「男女共同参画センター」を利用したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 50 あなたが「男女共同参画センター」に期待する役割がありましたら、ご自由にお書きください。

設問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は、
無記名のまま、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて
●月●日（●）までにポストにご投函くださるようお願いいたします。